

広報部会員による就業現場レポート(第20回)

熟練の技で、暮らしを支える!シルバー職人の「自信と誇り」

襖・障子の張替え

シルバー人材センターからほど近い、東陽5丁目に東陽作業所があります。こちらで、会員の〇〇さんが、襖や障子・網戸の張替え作業を行っています。

現在は1名で作業されているため一緒に仕事をしてくれる仲間を募集しています。

東京に桜の開花が発表された麗らかな春の日、作業所内で真剣な眼差しで黙々と作業に取り組む〇〇さんにお話を伺いました。



襖・障子の張替え作業(令和7年3月末現在)

就業会員 1名 就業場所 東陽作業所(江東区東陽5-16-13 東陽児童館内)

障子の作業工程



① 古い障子を水で濡らし、紙を剥がす



② 骨組みを丁寧に掃除し、糊をつける



③ 新しい紙を均等に貼り、乾燥させる



④ 棧に沿ってカッターで余分な部分を切り落とす

Q. 襖や障子等の張替え作業を初めてされたのは、いつ、どんな場所ですか?

A. 家に障子、網戸があったので張っていましたが、襖はシルバーに入ってから仕事で始めました。

Q. 1人で仕事をされていて大変なことは?

A. 自分のペースで出来るのは良いのですが、精神的負担は大きいです。枚数の多いときなど、襖や障子の出し入れも1人なので大変です。仲間がいれば、助かると思います。

Q. 仕事をする上で心がけていることは?

A. まず失敗しないように気をつけていますね。失敗すると、紙の費用も時間もかかってしまいます。また、糊が乾くとその後の作業にも支障があるので、手際よく作業を進めています。

Q. 最後に仕事を探している方に一言

A. 私も始めて8年5か月になりますが、技術的なことは経験するうちに身につくので心配しなくて大丈夫です。ただ、運搬作業が伴うので、それ相応の体力が必要になります。

「この仕事は、体力・気力とある程度の器用さが必要です」と語る〇〇さん。きっと納品した時の『お客様の喜ぶ顔』を心の糧としながら、誇りと情熱を持って仕事をされていると強く感じました。

適性はありますが、関心のある方は一度作業所を見学して、チャレンジしてはいかがでしょうか。

(広報部会員 〇〇さん)